

まず行動を起こす



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

## 1 [ 人間関係づくりに向けた観察やコミュニケーション等の取組 ]

気遣いの声を掛けたり手伝ったりしてやりたい。

先生方の動きや表情からその思いや問題点をよく見て感じ取り、気になることはすぐに声を掛け相談に乗ったりしている。また、忙しそうな様子があれば、進んで手伝い、職員にも声を掛けている。

課題や問題点を把握したい。

日常的に、先生方に声を掛け、世間話やその日の話をする中でいろいろな情報を交換し、悩みを聞いたり相談に乗ったりしている。同時に学校としての課題や問題点も把握している。

お互いに気軽に話せる関係を作りたい。

相談されることを待っているのではなく、自分から声を掛けるようにしている。先生方から話し掛けてもらえるような関係づくりを普段からしている。



先生方の様子をよく見たり、自分から声を掛けたりして、コミュニケーションを図っている。

## 2 [ 率先した行動で手本を示す取組 ]

率先した行動で手本を示したい。

チャイムスタートやチャイムエンド、清掃や給食等、学校生活の様々な場面で、時間を守ったり、全員で一斉に取り掛かれるように自ら率先して取り組んだりすることで手本を示している。

先生方に責任をもって仕事をしてもらいたい。

仕事の段取りや手順を示したり、取り掛かりの一部を自ら行った後、担当に依頼することで、責任をもって仕事を遂行できるようにしている。

多くのクラスのことを把握したい。

補欠授業の担当は、まず自分を入れてから空き時間の先生にお願いしている。いろいろなクラスに出ることによって、子供の様子を把握し、担任とコミュニケーションを図っている。



まず自分から行動を起こし、責任をもって行動をすることで手本を示している。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任

まず行動を起こす

→ 共に考え行動する

→ 力をまとめる

→ 確かめ合う

### 3 【 学校課題の改善に向けた情報収集や示し方の工夫 】

中・長期的な分析から成果や課題をつかみたい。

中・長期的な学校課題の改善に向けて、過年度との比較分析ができるような工夫したまとめ方で示している。

その年の学校の課題や問題点が見つめるような調査にしたい。

群馬県が示した「羅針盤」を基に、実態に合わせて学校独自のものを加えるなど、学校の課題を明確にするために調査内容や質問項目を改善している。

学校の課題や問題点を正しくつかみたい。

生徒と保護者のアンケート結果を関連させて比較分析することで、保護者の理解度や意識を把握し、課題を明らかにしている。

学校評価の情報収集に努め、内容や項目を見直したり、先生方への示し方を工夫したりするなど、学校課題の改善に向けた取組をしている。

### 4 【 情報収集や効率化のための意図的な働き掛け 】

1日の仕事の労をねぎらいながら、情報交換をしたい。

意図的に、先生方が少しホッとする放課後等の時間に「お疲れ様」と声を掛け、世間話やその日の話題等で情報交換し、悩みを聞いたり相談に乗ったりしている。同時に学校の課題や問題点も把握している。

担任の先生方の意欲を高めたい。

普段から、子どもたちの活躍をよく見聞きしておき、それを話題にすることで、先生方の意欲化を図っている。

会議を効率良く進めたい。

運営委員会や職員会議で重要な課題や問題等を話し合う場合に、管理職や各主任と事前に話し合い、適切に調整しておくことで、効率よく進められるようにしている。

意図的、積極的な情報収集や情報交換を行い、効率化を図っている。